

# ほけんだより

平成29年7月5日  
練馬区立早宮小学校  
校長 今村 理恵  
養護教諭 石山 綾  
(家庭数配布)

このところ「咽頭結膜熱(プール熱)」で欠席する児童が増えています。

6月に4名、7月に5名の感染が報告されています。

発熱やのどの痛みを訴えた時には早めに受診し、可能であれば咽頭結膜熱の検査を受けていただきますようお願い申し上げます。

## 咽頭結膜熱(プール熱) 第2種感染症 出席停止となります

主な症状(発熱・目の充血・のどの痛みなど)がなくなってから2日を経過するまで登校できません。登校の際は「登校届」が必要です。HPよりダウンロードしていただくか担任までご連絡ください。



アデノウイルスが原因で、飛沫感染や接触感染することによって起こる急性の発熱性疾患です。潜伏期間は2～14日です。主に流行する時期は夏季ですが、冬に流行することもありますので季節を問わず注意を要します。

病気の基礎知識	子どもたちがプール遊びを楽しむ季節に流行することから「プール熱」という別名がありますが、規定の塩素濃度(早宮小学校では0.4～1.0PPMを維持しています。)を保ったプールでは感染しませんし、プールに入らなくても感染します。
症状	急に39～40の高熱が出て、のどの痛みとだるさを訴えます。目が真っ赤に充血し、首のリンパ節が腫れます。関節痛や頭痛、腹痛や下痢を訴える子どももいます。 熱は3～4日続き、全身状態が改善するまでに約一週間かかります。
治療と経過	特別な治療薬はなく、症状に応じた対症療法を行います。高熱に対しては解熱剤を使うことがあります。結膜炎については、二次感染を予防するために抗生剤の点眼を行う場合があります。
家庭での過ごし方	安静と保温を心がけ、高熱による発汗、のどの痛みによる経口摂取の減少による脱水を起こさないに、水分を十分に補給させてください。 食事はのどの痛みを刺激しないように「熱いもの」「辛いもの」「しょっぱいもの」「すっぱいもの」を避け、喉ごしのよい「やや冷たいもの」「甘いもの」アイスクリームやゼリーなどを摂らせるようにしましょう。